

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年6月12日	
茨城県知事 殿	
提出者	
住 所 茨城県鹿嶋市大字光3番地	
氏 名 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 鹿島地区 執行役員 東日本製鉄所副所長(鹿島地区代表)安光 和典	
電話番号 0299-84-2912	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 鹿島地区
事業場の所在地	茨城県 鹿嶋市 大字 光 3番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	鉄鋼業
②事業の規模	665,110,888千円
③従業員数	2,886人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙2の通り

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類		別紙3の通り			
	排出量					
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	（これまでに実施した取組） ・発生各工程に発生抑制及びリサイクルを呼びかけ、所内で滞留しない取組を継続した。 ・発生元で成分含有量を確認し、原料リサイクルを推進した。 ・発生元での原単位向上に努めた。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類		別紙3の通り			
	排出量					
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	（今後実施する予定の取組） ・現状の取組事項を継続する。					

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・発生元で成分及び性状を調査し、他品種や異物が混入しないように分別管理を実施している。 ・置場を整理整頓し、他品種が混ざらないようにしている。					
	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状の取組事項を継続する。					

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類			別紙4の通り			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類			別紙4の通り			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 特に予定なし。						

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類			別紙5の通り			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) ・受入れ前に性状を調査(特管でないことを確認)し、処理している。 ・他品種や異物が混入しないように分別管理を徹底する。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類			別紙5の通り			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組事項を継続する。						

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類		別紙6の通り				
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量						
	（これまでに実施した取組） ・受入れ前の分析実施、受入時の立会いを行い、受入れ基準に該当しない物が投入されないようにしている。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類		別紙6の通り				
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量						
	（今後実施する予定の取組） ・現状取り組んでいることを継続する。						

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類		別紙7の通り				
	全処理委託量						
	優良認定処理業者 への処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者 への処理委託量						
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者 への処理委託量						
	再生利用業者への 処理委託量						
	認定熱回収業者 への処理委託量						
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量						
	（これまでに実施した取組） ・再生利用会社に積極的に処理委託している。 ・電子マニフェストを導入し、管理感度を向上した。 ・定期的に現地確認を行っている。						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類			別紙8の通り			
	全 処 理 委 託 量						
	優良認定処理業者 への処理委託量						
	再生利用業者への 処 理 委 託 量						
	認定熱回収業者 への処理委託量						
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全 処 理 委 託 量						
	優良認定処理業者 への処理委託量						
	再生利用業者への 処 理 委 託 量						
	認定熱回収業者 への処理委託量						
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社策定「廃棄物処理標準」及び「廃棄物の外部委託処理標準」に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。</li> <li>・ 委託先処理会社には定期的に現地確認を実施する。</li> <li>・ 可能な限り優良認定処理会社から選定する。</li> <li>・ 電子マニフェスト対応可能な処理会社から選定する。</li> <li>・ 再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用会社、熱回収会社へ処理委託する。</li> </ul>						
※事務 処理欄							

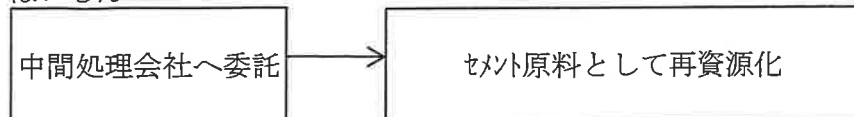
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

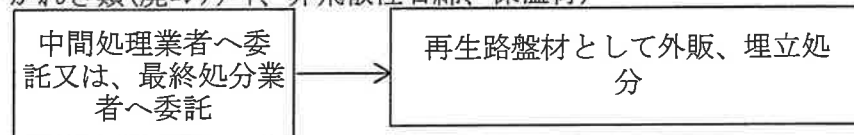
[別紙1]

産業廃棄物の一連の処理の工程

・ばいじん



・がれき類(廃コンクリート、非飛散性石綿、保温材)



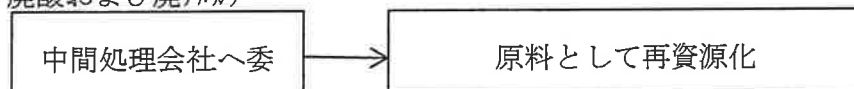
・汚泥



・廃油



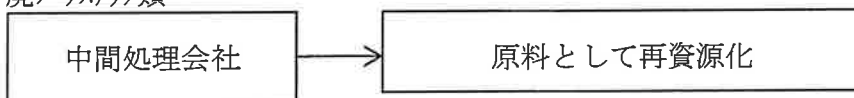
・廃酸および廃アルカリ



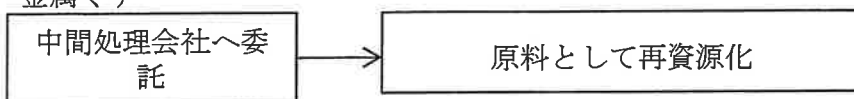
・ガラス陶磁器くず



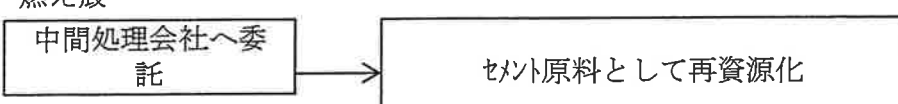
・廃プラスチック類



・金属くず



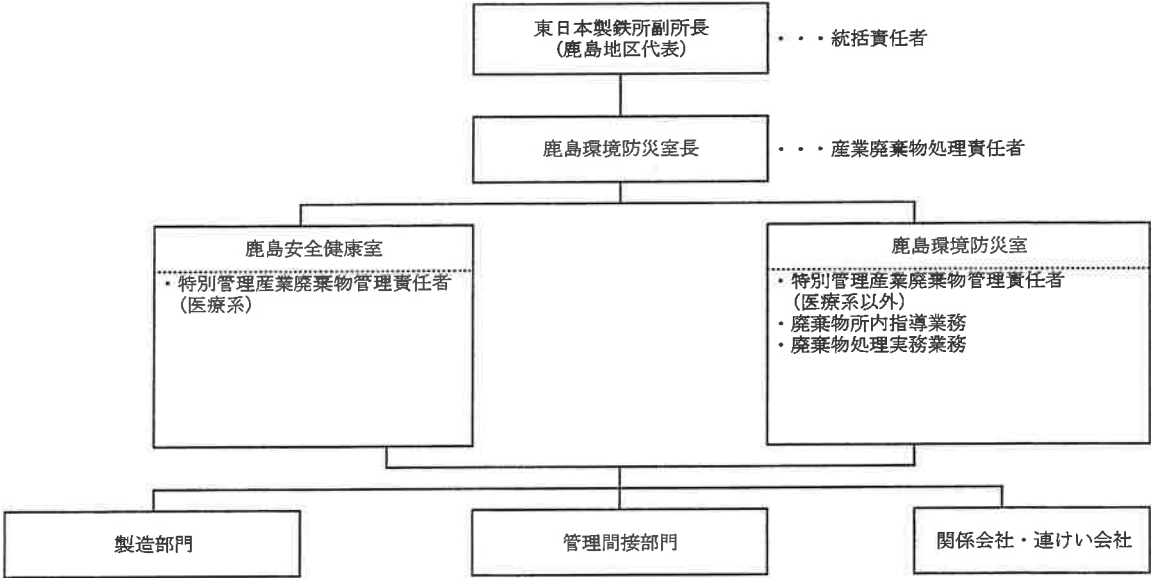
・燃え殻



・木屑



[別紙2]  
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項





[別紙3]

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	排出量	108,066 t	7,454 t	5,268 t	6,359 t	136 t	0.5 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	排出量	15,456 t	1,429 t	4 t	311 t	12,878 t	
計画	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	排出量	125,000 t	6,000 t	5,000 t	10,000 t	100 t	50 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	排出量	13,600 t	2,000 t	5 t	400 t	15,000 t	

[別紙4]

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
計画	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

[別紙5]

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
計画	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

[別紙6]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

現状	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
計画	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

[別紙7]

産業廃棄物の処理の委託に関する事項(現状)

現状	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	108,066 t	7,454 t	5,268 t	6,359 t	136 t	0.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,011 t	0.5 t	386 t	1,199 t	136 t	0.5 t
	再生利用業者への処理委託量	106,055 t	7,454 t	0 t	790 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	73 t	0.0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	4,809 t	4,370 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	全処理委託量	56 t	1,424 t	4 t	223 t	12,878 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	262 t	0 t	0 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	56 t	970 t	4 t	223 t	12,878 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	191 t	0 t	0 t	0 t	

[別紙8]

産業廃棄物の処理の委託に関する事項(計画)

計画	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	125,000 t	6,000 t	5,000 t	10,000 t	100 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	500 t	2,500 t	100 t	50 t
	再生利用業者への処理委託量	125,000 t	6,000 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	500 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	4,000 t	7,500 t	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず	燃え殻	
	全処理委託量	100 t	2,000 t	5 t	250 t	15,000 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	50 t	200 t	3 t	0 t	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	50 t	1,000 t	2 t	250 t	15,000 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	300 t	0 t	0 t	0 t	